

1 当院における体外受精の治療成績と妊
2 娠・出産例の予後

3
4 ○橋本和美 渡邊一博

5 (国保松戸市立病院 臨床検査科)

6 奥谷理恵 佐藤明日香 小野亜希子 鈴木義也

7 田巻勇次 (同 産婦人科)

8
9 **【目的】** 当院施行体外受精の治療成績および妊娠・
10 出産例の予後について検討した。

11 **【対象・方法】** 1997年10月から2012年7月(15
12 年間)までに体外受精胚移植(IVF-ET)、顕微授精
13 (ICSI)、配偶子卵管内移植(GIFT(1997-2009))および
14 凍結胚移植(CRYO)を施行した310症例(2児・3児含
15 む)、937周期を対象とした。卵巣刺激は主にLong
16 法でFSH製剤自己注射を連日投与、卵胞径16-18mm
17 に成熟したところでHCG5千~1万単位投与し35時
18 間後に採卵。IVF-ET、ICSIはDay2およびDay3胚で
19 移植。GIFTは採卵後直ちに媒精し、30分~1時間後
20 に腹腔鏡下で卵管内に移植。CRYOは緩慢法(1997年
21 ~2002年)、Vitrification法(2003年以降)。

22 自然周期またはHRT周期でDay2~Day5胚を移植した。

23 **【結果】** 移植周期あたりの妊娠率は239/937(25.5
24 %)、流産率は62/239(25.9%)、生産率は177/937
25 (18.9%)であった。IVF-ET、ICSI、GIFT、CRYOの周
26 期あたりの妊娠率は98/341(28.7%)、24/115(20.9
27 %)、28/70(40.0%)、89/411(21.7%)。流産率は
28 25/98(25.5%)、5/24(20.8%)、7/28(25%)、25/89
29 (28.0%)、生産率は73/341(21.4%)、19/115(16.5
30 %)、21/70(30.0%)、64/411(15.6%)であった。出
31 生児の多胎率は、単胎147(83.1%)、双胎27(15.3
32 %)、品胎3(1.7%)であった。単胎・双胎・品胎の
33 帝王切開率は、49(33.3%)、21(77.8%)、3(100%)。
34 児の先天異常は、出生児210名中3名(1.4%)でクラ
35 インフェルター、ダウン症が認められた。

36 **【まとめ】** 当院の体外受精で出産した児は177例
37 (210名)であった。累積妊娠率は210/310(64.8%)、
38 累積出生率は177/310(57.1%)であった。